

被爆地ヒロシマが被曝を拒否する
—過去は変えられないが未来は変えられる—
伊方原発運転差止広島裁判

2023
7/5
本訴
水

第35回口頭弁論期日

原告側（市民側）証人尋問 10:30 開始
16:10 頃迄

証人 翼 好幸氏 テーマ「火山」
火山の専門家。神戸大学名誉教授・同大学海洋底探査センター客員教授

ぜひ法廷へ
傍聴にお越し
ください。

2023
7/19
本訴
水

第36回口頭弁論期日

被告側（四国電力）証人尋問 11:00 開始 16:10 頃迄

証人 中川 俊一氏 テーマ「安全対策」
(株) 四国電力原子力本部・伊方発電所品質保証部長

2023年7月5日スケジュール

09:55	広島地裁 南西角交差点集合
10:00	広島地裁へ乗込行進 いっしょに歩きましょう
10:20	までに入廷 ※傍聴抽選はありません
10:30	第35回口頭弁論開始 原告側主尋問
12:00	昼休憩（広島弁護士会館 2F 大会議室 開場）
12:45	参加者ミニ交流会（広島弁護士会館 2F 大会議室）
14:00	第35回口頭弁論再開 被告側反対尋問
15:30	休憩
15:40	再尋問
16:10	第35回口頭弁論終了予定
16:30	記者会見・報告会開始 ZOOM併用 ※当日裁判進行によっては時刻が前後することがあります。
18:00	記者会見・報告会終了予定



ID: 878 5030 0200
パスコード: 477805

証人尋問の ZOOM勉強会 「ここが見どころ聞きどころ」

これまでの準備書面からポイントや用語を簡潔解説。どなたでも参加できる座談会形式の勉強会です。

「火山」7月1日
「安全対策」7月16日
いずれも午後8時開始



ID: 830 9795 6597
パスコード: 503534

ZOOMによる期日報告会・勉強会はどなたでも参加できます。参加要綱など、詳しくは当裁判 web サイトをご覧ください。

2023年7月19日スケジュール

10:50	までに入廷 ※傍聴抽選はありません
11:00	第36回口頭弁論開始 被告側主尋問
12:00	昼休憩（広島弁護士会館 2F 大会議室 開場）
12:45	参加者ミニ交流会（広島弁護士会館 2F 大会議室）
13:30	広島地裁前にて記録撮影
14:00	第36回口頭弁論再開 原告側反対尋問
15:30	休憩
15:40	再尋問
16:10	第36回口頭弁論終了予定
16:30	記者会見・報告会開始 ZOOM併用 ※当日裁判進行によっては時刻が前後することがあります。
18:00	記者会見・報告会終了予定



ID: 869 9046 5473
パスコード: 151731

ご寄付・ご支援をお願いします

ゆうちょ銀行振込口座の御案内

【7月30日まで】口座名◆伊方原発広島裁判応援団
【8月1日より】口座名◆伊方原発広島裁判事務局
口座記号番号◆01360-8-104465
他行からの振込◆店名(店番): 一三九(139)
預金種目: 当座
口座番号: 0104465
(ゆうちょダイレクトのご利用をお奨めします)

【主催】伊方原発広島裁判事務局 ☎ 090-7372-4608

【6月30日まで】〒733-0012 広島市西区中広町 2-21-22-203
【7月1日より】〒731-0232 広島市安佐北区亀山南 2-26-11
E-mail: saiban_office@hiroshima-net.org
URL: https://saiban.hiroshima-net.org



私たちの活動はみなさまの御寄付で支えられています。
この場をかりて厚く御礼申し上げます



証人尋問傍聴記

ぜひ法廷へ傍聴に来てください。

今後も楽しみな証人尋問

伊方原発広島裁判の原告として、裁判の傍聴には必ず参加しています。原告意見陳述では原告その人の裁判に臨む思いが語られます。それに対して、この4月19日から始まった証人尋問では裁判の主要争点を巡って双方の論戦が展開されます。19日の主題は、原発重大事故の際の「避難計画」問題でした。原告代理人・村上朋矢弁護士が質問し、証人の哲野イサク氏がそれに答えるという形で、問題点を浮き彫りにしつつ120分の証人尋問が進行しました。とても迫力がありドラマティックでもありました。殊に、「日本では避難計画の実効性を審査する法的仕組みが無い」という点、「アメリカのショアハム原発では住民が時間内に逃げられないことが原発廃炉を導いた」という点は避難計画問題の極みだと思いました。今後の証人尋問で、伊方原発の「不都合な真実」がさらに解明されるでしょう。楽しみな証人尋問です。

(本訴原告・上里 恵子 記)

あきれた被告側反対尋問

6月5日、私は法廷内席に座って証人尋問の様子を見届けました。過酷事故対策に関する原告側証人の後藤政志さんの証言は見事でしたが、私が意外に思ったのは被告側の主任弁護人の反対尋問で、初めから終わりまで「これこれについてご存じですか」の繰り返しでした。被告側としては、後藤さんが原発のことをいかに知らないかをアピールしたかったのでしょうか、後藤さんへの反論もなく、重箱の隅をつつくような質問は法廷においてはおよそ説得力がなかったです。

仮に私が被告側弁護人の立場にいたとしたら、知識の多少を問うより、証言に間違いがあると言って追及を試みると思うのですが、それすら出来ない状況だったのかもしれない。この日、四国電力の社員の方が大勢傍聴につめかけたことはとても良かったです。自分の会社の問題がよく見えたことでしょう。

(本訴原告・井上 豊 記)

「基準地震動」一熱い戦いの1日

5月31日(日)は、被告側証人の松崎伸一氏(四国電力・土木建築部長)の証人尋問。11時に始まった主尋問では、松崎氏が、新規制基準に則って伊方原発の「基準地震動」を策定した手順と、それがいかに保守的であるかを、専門用語を駆使しながら説明しました。原告側弁護士による反対尋問は2時間の休憩をはさんで14時に始まりました。前川哲明弁護士の尋問は、地震動の評価についての原告側弁護団の知識が浅いものではないこと、四国電力の「基準地震動」策定の過程に多くの恣意的な要素があることを印象づけました。前川弁護士に続いて、竹森雅泰弁護士、橋本貴司弁護士、胡田敢弁護士も尋問に立ち、反対尋問の時間は予定の90分をオーバー、110分に及びました。熱い戦いが展開された1日でした。

(本訴原告：原田 二三子 記)

傍聴して思わず声を出しそうに…

これまで何度か裁判の傍聴をしました。お互いの提出主張書面などの確認をして、次回期日を決定するとあっという間に裁判が終わり、思い描いていたテレビドラマのような裁判とは違いました。しかし、今回初めて証人尋問を傍聴し、裁判のイメージが変わりました。主尋問・反対尋問とも、お互いに肉声で主張をぶつけ合うので緊張感があり、感情が声や表情に出るシーンもありました。傍聴していて思わず声を出しそうになる瞬間もありました。後藤さんの証言(第34回口頭弁論期日の「過酷事故対策」に関する後藤政志氏の証言のこと)などから四国電力の過酷事故への対策、事故想定のおかしさを知る事ができました。嘘やごまかしを続けなければ稼働できない原発の真実がこれからの証人尋問で次々と明らかになっていくでしょう。裁判の中でも証人尋問は、裁判に与える影響が大きいように感じました。

(本訴原告・森本 道人 記)

今後の証人尋問予定表

(2023年6月19日現在)

年月日	証人	テーマ
2023年 7月 5日	原告側証人 巽 好幸氏 火山の専門家。神戸大学名誉教授・同大学海洋底探査センター客員教授	火山
7月19日	被告側証人 中川 俊一氏 (株)四国電力原子力本部・伊方発電所品質保証部長	安全対策
7月31日	原告側証人 野津 厚氏 国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所、港湾空港技術研究所領域長	強震動予測
9月11日	原告側証人 早坂 康隆氏 地質学者。元広島大学大学院、地球惑星システム学、准教授	地震動
10月 4日	原告側証人 鴨下 美和氏 神奈川在住、福島原発事故避難者	原告本人供述
10月 4日	原告側証人 久保山康代氏 愛媛在住、福島原発事故避難者	原告本人供述
11月 1日	原告側証人 高島 武雄氏 熱工学の専門家。元小山高専教授	水蒸気爆発
11月29日	被告側証人 金折 裕司氏 山口大学、理工学研究科、教授	活断層
12月18日	原告側証人 伊藤 正雄氏 広島在住、広島原爆被爆者	原告本人供述
12月18日	原告側証人 渡部 美和氏 広島在住、福島原発事故避難者	避難者証言
2024年 1月22日	原告側証人 森本 道人氏 広島在住、会社員	原告本人供述
1月22日	原告側証人 福島 敦子氏 京都在住、福島原発事故避難者	原告本人供述

私にしろ僕にしろ
命と健康と暮らしを守る戦いです

被曝を拒否する

【写真説明】2023年6月5日第34回口頭弁論期日、広島地裁前にて原告・支援者らによる記録撮影